

NO. 736
発行
11・10月30日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部

組織拡大と 労働条件の改善を

第64回 定期地方大会

第64回地本定期大会が、10月1日、10時から、地本会議室で開催されました。国労東日本本部から矢部執行委員が出席、全体で35名が出席しました。上石副委員長から、開会に先立ち東日本大震災で亡くなられた方々の御冥福をお祈りし全体で黙祷を行いました。

議長に佐藤代議員

議長は、新潟県支部の佐藤代議員



が選出され代議員全体の忌憚の無い意見を出し合い大会を成功させたい」とあいさつがありました。



身近な問題 出される

大会は、9名の代議委員から職場の問題点・検修外注化・エルダー社員の労働条件改善について・昇進、昇格など職場に発生している身近な問題について意見が出されました。

あいさつ 関川委員長

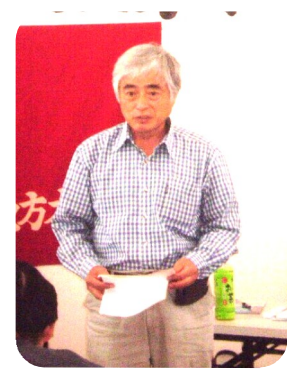


JR不採用事件について、8月の全国大会で終結した。これによって国労運動が新たな一歩を踏み出す。25年の集積と教訓を含めて。

3・11東日本大震災で国労組合員2名が亡くなった。大きな災害となっている。国の責任によって復興しなければならない。並行在来線も含めて鉄道の公共性を訴えていく。

原発事故について、収束していない。原発ゼロの社会をめざす行動が具体化されている。大江健三郎氏が呼びかけた集会に6万人集まった。原発の無い社会を国労もめざしていく。

地方大会が代議員のみなさんの活発な御意見で成功するよう求める。



坂野団員あいさつ

定期大会に、函館闘争団から坂野団員が出席、あいさつがありました。

1年間、雇用の問題で、JR各社への復帰について取り組んできたが、その願いもできなかった。全国連絡会で苦渋の選択をした。当事者間の4党合意の乱れ、内外的からの妨害もあったが、その後

乗り越えて今日に至っている。雇用の問題は解決できなかったが、闘いを終結することになった。本場に私たちがだけの闘いでは厳しい状況、勝ち取れなかったのではないが。

全国の支援共闘の仲間、物心両面にわたっての仲間の支援があったからだと思ふ。

函館闘争団、結成して21年。20名でスタートし、3名が亡くなった。秋元団員が新潟の地で亡くなった。函館に居るより新潟に居た方が落ち着くと言っていた。受け入れてくれるところが多くあった。

新潟の暖かさ、思いがあった。新潟の仲間、支援してくれた仲間へ私たちの感謝の思いとしてポールペンをわたすことを団員全員で決めた。



8月の大会で闘争団員の資格がなくなつたが青函地本で地方大会まで特別組合員として、第64回新潟地本大会に出席できた。今後は、国労運動と地域や組織拡大に向けて取り組んでいく。24年間、団員、家族を含め御礼を申し上げます。

KN山の会たより

国 労 新 潟 山 の 会
 発 行 所
 新潟市秋葉区善道町1-1-1
 〒956-0865 ☎ 0250-24-8336
 FAX 0250-24-8337
 2011年10月20日 No. 81号
 発行責任者 大湊 茂
 発 行 者 野村 正三

秋も深まり紅葉真っ盛り報告

安達太良山 1699.6m
 と き 9月29日(木)
 集合場所 国労事務所前
 集合時間 午前6:30

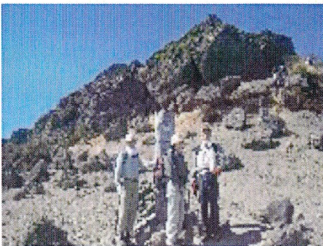


安達太良山山頂1699.6m

国労事務所6:40分出発安達太良山登山口には、9:05分到着した。当日の天気は快晴に恵まれて久しぶりに、ゆっくりとした登山を楽しみました。

紅葉には少し早かったけれど、花は、リンドウが満開、ナナカマドの実が真赤に色付いていました。その他の木樹も少し色付き始めていました。

あだたら高原スキー場
 奥岳登山口 9:05
 ↓
 ゴンドラ終点 9:30
 ↓
 安達太良山頂 11:00~
 ↓
 12:05
 ↓
 牛の背
 ↓
 奥岳登山口 3:20
 参加者=大湊・牛木・
 風間・スエ子



安達太良山広場



噴火口跡 沼の平

帰りは、勢至平から馬車道を通り鳥川溪谷の橋を渡り林道終点へ、本来は富士急ホテルで風呂に入り汗を流して帰る予定でしたが、残念ながらここも原発の影響で休業中でした。

風間より

荒沢岳報告 1968.7M

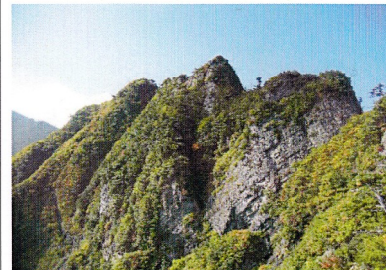
と き 10月8日~9日
 集合場所 国労事務所前
 集合時間 14:00
 民 宿 奥只見山荘

越後三山をはじめ上越国境の山々 眼下には奥只見湖が見える



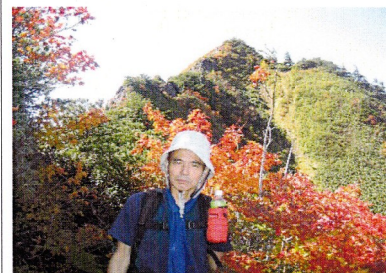
荒沢岳山頂とバックには越後三山

登り 約4時間39分
 荒沢岳登山口 6:36
 ↓ (0:39)
 前山(朝食) 7:15
 ↓ (1:40)
 鎖場 8:55
 ↓ (0:40)
 前嵩 9:35
 ↓ (1:40)
 荒沢岳 11:15



前嵩中間から前嵩の岩壁を見る

下り 約3時間25分
 荒沢岳 12:15
 ↓ (1:00)
 前嵩 13:15
 ↓ (0:40)
 鎖場 13:55
 ↓ (1:15)
 前山 15:10
 ↓ (0:30)
 荒沢岳登山口 15:40



荒沢岳山頂と紅葉

午後14時、事務所出発し、奥只見銀山平16時10分ごろ到着した荒沢岳登山口を確認し宿に、夕食は、満足な料理でした。翌日早出なので朝食とお昼のおにぎりを用意してもらった。銀山平民宿は、みんな同じ様な作りでした。銀山平登山口はきれいなトイレがあり、そこ

から約40分ぐらいで前山だ、この辺りから未丈ヶ岳や越後駒ヶ岳、前嵩の岩峰がそびえている。夏以来の登山なので、足に不安を抱えながら長い尾根の果てには、絶好の展望台が待っていた。疲れも吹っ飛び紅葉の鮮やかさも格別でした。帰りの前嵩からの鎖場は、登り以上に危険でした。無事に帰宅したが、翌日から筋肉痛で大変でした。

参加者=大湊・風間・野村

五頭山 靴洗い登山案内
 と き 11月12日(土)
 集合場所 国労事務所前
 集合時間 午前9:00

す。お願 さい。お教 ます。た載 どの プす。ク紅 ます。 づきの の だ。に紅 段た。を会 ー
 願 いろ 寄宣 ます。いせ の や キに 葉 これ づいれ 写 ニ なり の 深 秋 せよ K 今
 しい しく せ部 すと て 内 旅 キな も も 深 まも まり N 回
 しし しく くだ 地思 い容 行 ヤリ ピから 色 いに で ヲ しま し 期り ーし ーの は
 まく だ 本 いき も な ーま ー 色 ま ス し 期り ーし ーの は